



あっぷわす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2023年3月15日 第152号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.152

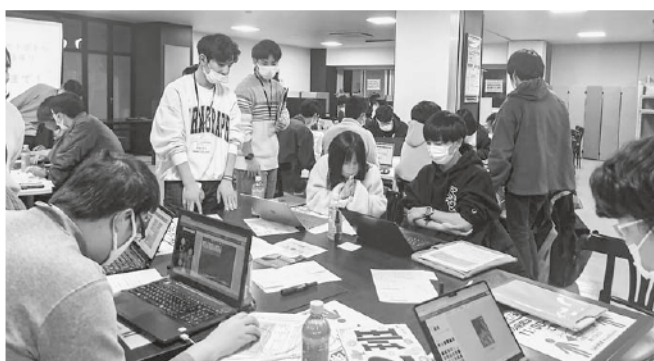
REPセッション#7 (総代の集会)

開催日：1月17日(火) 大学会館2階Scorum

参加人数：45名(総代数：19名 学生委員：22名 職員数：4名)

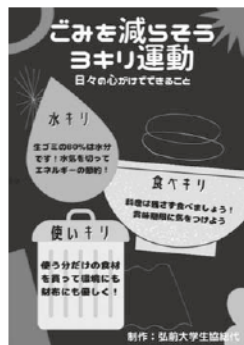
開催目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者の間の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させること。



今年度最後のREPセッションでした。職員からの話ではHorest店長の三浦より食堂の価格改定について話があり価格高騰に対しては、仕方がないと考えている総代も多く、食堂で価格を抑える努力をしていることに感謝している総代が目立ちました。総代企画では、前回出たごみ処理に関する意見を組合員に届けるために、ポスター作成を行いました。ごみ処理に関するポスターと動画を作成することができ、4月から生協管理アパート、各生協店舗などで掲示、放映する予定です。目に留めていただけたら嬉しいです。

総代が作成した「ごみ処理」に関するポスター。弘前市で多い「生ごみ」を減らす呼びかけや、変更となるペットボトルのラベルに関して呼びかけしています。



1年間のREPセッションを通して、総代、生協職員、学生委員で協力して様々な意見交流を行ってきました。交流を通して、参加者の親睦も深まり、意欲的に活動することができたと思います。また、総代リーダーが中心となって、総代企画の進行や意見回収を行いました。来年度は、総代が主体的にREPセッションを運営していけるよう、我々学生委員もサポートしていきたいです。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 篠崎美沙

総代の感想

●私は一年間総代として活動して、第一にとっても楽しく活動することができました。学生委員や生協職員、ほかの総代の人と意見交換したり楽しく交流したりして有意義な活動であり、私たちの学生生活を支えてくださっている大学生協のさまざまな活動について深く知ることができる良い機会でした。私は総代リーダーとしても活動して、REPセッションで集まった意見についてのディスカッションをしたり、総代企画の動画作成に関わることができたりして楽しかったです。

医学部保健学科 作業療法学専攻 津久井良知

●実際に総代として1年間活動してみると、大学生協での取り組み等について、職員の方々とだけではなく学部・学年の垣根も越えて沢山のひとと対話をする機会が多く、色々な人とコミュニケーションを取る機会に恵まれていると感じました。また、学生の意見を直接生協に届けるという意味でも、総代は非常に重要な立ち位置にいるのだと実感できました。短いですが、最後に、弘大で何をしようかまだ迷っている貴方へ。より良い生協、一緒に創ってみませんか？

人文社会科学部 文化創生課程 葛西藍

協議事項

第1号議案 2023年度 重点課題(環境・健康(食)・社会)

2022年度重点課題の振り返りと2023年度重点課題について提案があり協議しました。「社会」について、どういう職業に就くのか、働いたらいくらお金がもらえるのか、そういうことを考えるのも「社会」なので身近な問題に取り組んだ方がよい。

「環境」について、自分がリサイクルしたことでどういうことが起きるのか、を目にすることができれば嬉しいので、楽しく参加できる活動を考えて方がよい。

「健康」について、心の健康をあらためて考え、社会や職場の中で心の健康を維持することが大切。いただいた意見を踏まえ検討していくこととしました。



第2号議案 第62回通常総代会 組合員活動の時間

学生委員会より、総代会 組合員活動の時間について「つくる責任つかう責任」「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」の3つをテーマに取り組むことの提案があり審議しました。

「つくる責任つかう責任」で、「ゴミ問題」に取り組むのは大切だが、広がりにくいのではないかという意見や、「住み続けられるまちづくりを」は普段考えることがないテーマなので設定して考えるのはよいのではないか、考える上では専門家を呼んだ方がいいのではないか、という意見がありました。

この議案については、いただいた意見を踏まえ、学生委員会で再度検討することとしました。



議決事項

第3号議案 2022年度決算方針

第4号議案 2023年度店舗方針予算案

第3号～第4号議案について、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

特産品企画「30秒予測クッキング」

開催日時：2022年12月5日(月)～9日(金) 11時50分～12時30分／17時30分～18時30分

開催場所：食堂Horest内 参加人数：154名

開催目的

- 郷土料理や特産品を通してより青森について知り、魅力を感じてもらう。
- 企画を通して、組合員の食への関心を高める。
- 組合員に日常の食生活について見直してもらう。

県内各地から集めた9種類の郷土料理を対象とし、10個の具材・12種類の調理方法を組み合わせ出題しました。問題に含めた郷土料理や具材が非常に豊富であったことから、出身地や年齢にとらわれることなく楽しんでもらうことができたのではないかと思います。企画も後半に差し掛かってくると「予習してから来ました」「SNSでの投稿を見て、面白そうだと思って挑戦しに来ました」といった声も聞かれ、情報提供と対面での企画が互いに上手く作用しているなど感じると同時に、この企画の開催目的が達成されてきていると感じられ、とても嬉しい気持ちになりました。



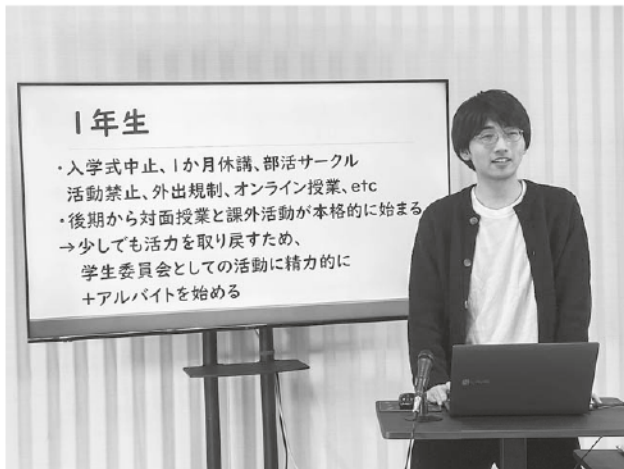
特産品・郷土料理紹介はSNSでの情報発信に加え紙媒体で数百枚を配布し、料理動画は食堂入口のモニターや対面企画会場で放映しました。提供物も写真をふんだんに使ったり文字の大きさを工夫したりするなど満足のいくものとなり、多くの組合員に目を向けてもらうことができたと感じました。

生協学生委員会 教育学部2年 佐々木健吾

前期受験生と保護者さまへの説明会

開催日：1月21日(土)・22日(日)・2月28日(火)・3月1日(水)・2日(木) オンライン zoom開催

参加人数：1月21日(土) 49組・1月22日(日) 21組・2月28日(火) 102組・3月1日(水) 56組・3月2日(木) 35組 計263組



私たちは「弘大を目指す受験生と保護者の方に大学生活を知ってもらい、そのために必要なモノとこころの準備をしていただくこと」を目的に説明会を行いました。私は自分の大学での勉強や食事、住まいについて話しました。受験生向け説明会であるため、参加者は不安な気持ちが大きいはずですが、だからこそ、自分の大学生活がとても充実していることを伝え、受験生の皆さんに希望を持ってほしいという思いで話しました。また、質問コーナーを設け、皆さんからの多くの質問に答えました。終了後にはとても参考になった、面白かった、と温かいコメントをいただき、とてもやりがいを感じました。

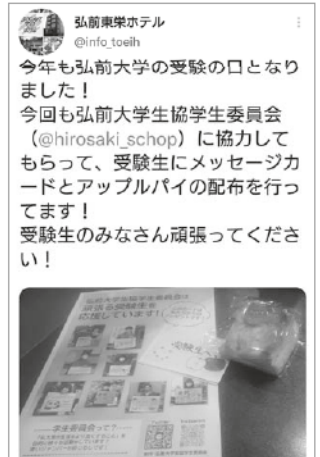
大学生活アドバイザー 教育学部2年 成田佳乃



【参加者の声】

- 分かりやすく丁寧に説明してくださり、ありがとうございました。実際の生活をイメージしやすかったです。優しい先輩がいてくださる、と思ったら大学生活も安心できます。
- 皆さん丁寧に説明してくださりありがとうございました。弘大の印象がさらに上がりました。
- 皆さんの人柄が垣間見れて、素敵な学生さんのいる大学だとわかったので魅力が増しました。入学してお会いできると嬉しいです。
- 大学のことでなく、弘前のイベントや、先輩方の自己紹介、人柄が感じられる場面もあって、とてもよかったです。また、質問に答えてくださる場があって安心しました。

受験生がんばれ！（学生委員会）試験会場での案内や弘前市内のホテル（一部）にメッセージカードを置いていただき、受験生を応援しました。



職員紹介



やまだ ゆうや
名前：山田 遊野 出身地：大阪

飲食関係に勤めていたので料理は作るのも食べるのも好き。（でも一人暮らしで自分の分だけなら作る気がおきない）

学生の時にワーキングホリデーでカナダに1年半いたので映画は字幕なしで見ます。（でも洋楽は聞き取れない笑）

食堂の特にピーク時は、限られた時間の中で食事をされる方がたくさんいます。利用される皆さんにいつでも温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、当たり前のことですが当たり前のことを一つ一つ大切に提供できるよう心掛けていきます。

学生総合共済からのお知らせ

1月のお支払い状況

病気入院	4件
病気手術	3件
事故入院	15件
事故通院	17件
こころの早期対応保障	2件
親扶養者死亡	1件
計	42件

お支払い金額

2,904,000円

たすけあいアンケートより

「少しでも体調に異変があったらすぐにカウンセラーなどに相談することが大切だと思いました。」

(うつ病 こころの早期対応保障

共済金 10,000円)

*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。



新型コロナウイルス感染症に伴う「みなし入院」による入院共済金の取り扱いが変更になりました。2022年9月26日(月)以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方について、みなし入院(自宅療養・宿泊療養)に関して共済金の支払い対象が変わります。詳しくはco-op学生総合共済のホームページ(新型コロナウイルス感染症ページ)をご参照ください。

危険な飲酒防止運動

開催日：2022年12月19日(月)～22日(木)

開催場所：食堂Horest内 参加人数：80名

開催目的

- ① 飲酒による事故や怪我を防ぐために、お酒についての正しい知識を持ち、健康に生活してもらう。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染対策の意識を今一度高める。

100円夕食があった日は多くの方が企画に参加してくれました。体験ブースをいくつか用意していましたが、気軽に体験できる「アルコールパッチテスト」は人気が高く参加者が多かったです。私たちが「体験してほしい！」と特に力をいれたのは「泥酔状態体験ゴーグル」でした。「泥酔するとうなるんだ」など、まさに飲酒の危険に関する感想を持った声をたくさんいただき、当事者として意識してもらえたと思います。

今年新たに「飲酒クイズ」も行いました。楽しみながら正しい知識を身に付けられ、考えてもらえる点がとてもよかったです。

情報提供、対面企画どちらも開催する目的の達成を実感できてとても有意義な企画になったと思っています。

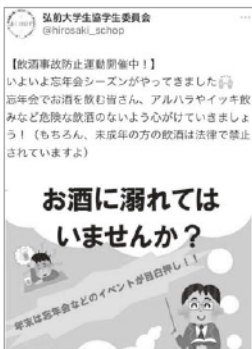
生協学生委員会 人文社会科学部2年 森野心桜



アルコールパッチテストの様子



介抱体験の様子



SNSによる情報提供

編集後記



2023年度の新入生サポートセンターがOPENしました。新入生サポートセンターでは大学生生活アドバイザー(先輩学生)が一人担当し、アパート探し等、大学生生活に必要な準備を一日で完了できます。また、同じ学部の学生が担当しますので、勉強や大学生生活に関する疑問や不安にもお応えします。

この時期、たくさんの新入生に出会い、卒業生を見送りながら思うのは「私たちは変わらずにここにいたい」ということ。時代やニーズの変化があっても、大学生生活をサポートし卒業生がまた来てくれる場を継続して守っていきたいです。(SHIMO)